

静岡  
ドボジョ  
が行く!

鉄道とともに変わる  
東海道編



旅人の楽しみは？

駿河三大名物を知ってますか？安倍川餅、追分羊羹、あと1つ。それは、古庄の地で生まれた「兎餅」です！

薄皮の餅で小豆あんを包み、満月の焼印を施した餅菓子です。この餅菓子売っていた茶店の店先で飼っていた兎が、名前の由来となっています。

文化文政の狂歌師・大田南畝の歌によって評判となり、駿河の名物となりました。

旅人は、ここから富士山を眺めながら、美味しい兎餅を食べ、旅疲れを癒していたのではないのでしょうか…

現在は、静岡市ブランド「しずおか葵プレミアム」の認証を受け、静岡名物としての復活が期待されます。



「兎餅」跡地の立て看板



兎餅 出典：静岡市経済局商工部

「耳長ふ聞き伝えし  
兎餅月もよいかあらがれ名物」



ここから見える富士山

東静岡地区のまちづくり

●東静岡地区のシンボル東静岡大橋

東静岡地区の葵区と駿河区を結ぶ南北幹線道路として、JR東静岡駅の約200m西側に、東静岡大橋があります。落ち着いた安定感のある丸みや曲線を取り入れたデザインで、東静岡地区のシンボルとなっています。

夜はライトアップされ、中央のアーチが特徴である単弦ローゼ橋の美しい姿を見ることができます。



中央のアーチが美しい東静岡大橋

橋長	183.0m	幅員	24.5m
形式	3径間連続下路式単弦ローゼ桁橋		
架設工法	手延べ式送り出し工法 地形上の制約があることから、手延べ式送り出し工法で施工されています。作業は東海道新幹線の運行時間帯終了後に実施され、約1ヶ月かかりました。		
供用開始	平成25年7月 ※エレベーター2基が設置され、車椅子や歩行者にも配慮された人に優しい橋です。		



送り出し準備

10回目送り出し完了

東静岡大橋の施工の様子

●隠れたアート?!

東海道本線の南側の線路脇には、平成10年の東静岡駅開業記念として、地元の子供たちが描いた楽しい絵が飾られています。

ここでは、市民参加型のまちづくりが進められています。



東静岡駅前歩道の手形



オオカミと7匹の子ヤギ

しずみち散歩 女性ワーキンググループ

静岡市建設局道路部道路計画課

〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号

電話：054-221-1239

静岡市HP「しずみち散歩はじめます!!」も検索してね。



今回のワーキングメンバー



平成29年11月

東海道（東静岡地区）へのアクセス

最寄り駅：【静岡鉄道】 袖木駅、長沼駅、古庄駅、 県総合運動場駅  
【JR】 東静岡駅

散策時のオススメ

江戸時代、旅人たちが通ったこの道を、当時の様子を思い浮かべながら散策してみてください。普段気づかない思わぬ発見がきっとあるはず。建物の間から富士山が顔を出します。



# 姿を消した！？旧東海道を探しに行こう！

～鉄道的发展と共に遷り変わった東静岡地区を歩いて、その歴史に触れてみよう～

徳川家康による街道整備により、多くの人々が往来することとなった「東海道」。

今回、私たちが案内する東静岡地区も東海道の一部です。近代の鉄道と道路の発展によりその姿を変えた今、ここが東海道ということさえ知らない人も多いのでは…。普段は車で通りすぎるこの道を、当時ここを歩いた旅人を思い浮かべながら歩いてみると、「ありました！当時の面影が…」

みなさんも、この地区を散策して、こんな発見をしてみてくださいね。

## 富士山とともに ～柚木横断歩道橋からの眺望～

昔は富士山がどこからでも見えていましたが、時代とともに建物が増え、富士山が見えにくくなっています。東海道を歩いていくと、ビルの中から、突然、富士山が現れますよ。



## 長沼一里塚を探してみよう！

一里塚とは、江戸時代、江戸日本橋を起点に1里(約4km)ごとに築かれた塚のことです。この「長沼一里塚」は44里の場所に位置するそうです。当時、5間(約9m)四方、高さ1.5m～2mだった塚は、明治9年にエノキの大木が切り取られ、昭和5年に周囲3m、高さ1mまで小さくなりました。旅人たちの目印になっていた一里塚ですが、現在は住宅街の中にひっそりと石柱だけが建っています。



参考資料：静岡県にみる東海道の一里塚(四ノ宮 尹 編著 1984年 明文出版社)

## えっ！ここを通るの!?～北村地下道～

ここでは、JR 東海道線開通により、南北を行き来するために整備された「北村地下道」です。出入り口はとても狭く、車ではすれ違えないほどですが、いまだに多くの人々が利用しています。旧東海道は、昭和37年までJRを斜めに横断していました。北村地下道ができて現在のルートになりました。



驚き！真上を電車が通過します！



北側入口

ここからも富士山が見えますよ！



南側入口



外からの光が差し込む空間



中は意外と開放的

協力：JR東海 静岡支社



富士山のビューポイント  
鉄道整備前の旧東海道ルート

どこから富士山が見えるかな？  
確認しながら歩くのも楽しいよ！

## 柚木地下道の秘密教えます！

旧東海道は、静岡縣護國神社前から斜めに東海道本線をわたっていましたが、現在はこの柚木地下道で線路をくぐります。下を歩いているだけでは気づきませんが、上空の水色の橋は、農業用水路です。かつては、この周辺が水田であったことの名残です。



## 旧東海道を今に残す記念碑を発見！

北村地下道南側を出ると、この石碑があります。栗原地内に旧東海道があった古き昔を偲び建てられたものです。この地の旧東海道は姿を消してしまいましたが、この記念碑が、旧東海道とともに発展してきた町の歴史を残そうとした人々の想いを、しっかり伝えていきます。



## ブロックに見えるアスファルト舗装に注目！

草薙総合運動場から静鉄「県総合運動場駅」までのアクセス道路は、景観を重視し、周辺環境に調和した道路にするため、ブロックが敷かれています。(インターロッキングブロック舗装) 交差点の部分は、実はアスファルト舗装です。表面に柄を型押しする再加熱式型押しアスファルト工法が採用されています。まるでブロック舗装のような美しい仕上がりになっています。

